

ふるさと教育 取組事例

学校名	美郷町立大和中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
全学年	総合的な学習の時間	荷越瀬プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域学校支援コーディネーター ・ 地域の方々（町役場、神楽団体、校区公民館、観光協会等）
ねらい		美郷町のこと（自然・歴史・産業・人・モノ・コト・食べ物・文化など）を体験したり、地域の方へのインタビューや調査をしたりすることを通し、地域の良さや地域の抱える課題について知り、その課題の解決に向けた提案を考え、発信していく。	
<p>1 取組の概要</p> <p>①荷越瀬プロジェクトの探究課題の設定 ※5つの項目（観光・歴史文化・福祉・自然・防災）の中から1つ選択しテーマを決める。</p> <p>②地域への取材・体験活動・調査活動</p> <p>③プレゼンテーション資料の作成</p> <p>④発表会</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 （ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で行われている活動や地域の抱えている課題について、地域の方（事業所・公民館、観光協会・地域住民の方など）のもとに出かけて調査・取材したり、体験をとおして一緒に活動をすることで、地域の方の思いを聞き、ふるさとへの愛着や貢献意欲を高めることを意識して取り組んだ。 <p>（学力育成の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題（現状）を知り、様々な人から必要な情報を収集し、整理、まとめる力をつけるために、地域へ出かけ、取材（体験）し、地域の方の思いを知る活動を取り入れた。また、プレゼンテーションの発表に向けて、公民館の方やICT支援員、地域学校支援コーディネーターの方やお世話になった方に中間発表を見てもらい、話し方やスライドの内容などの改善点について助言をもらい、より分かりやすい発表になるよう改善を行った。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） （ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動を行う中で地域の方と触れ合いの機会をもち、取材などを通して地域の方々との関わりが深まり、地域への愛着や関心がより強くなった。 <p>（学力育成の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域人材を取材やプレゼン資料の作成などで活用した結果、話す聞く力・まとめる力・表現する力の向上に繋がった。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域にインタビューに出かけ、地域の方と一緒に体験を行う機会が増えたことで、発表内容も充実し、地域とのつながりが深まってきたことはよかった。また、全校生徒の発表会でお世話になった方や保護者の方に活動のまとめを見てもらい、たくさんの感想をいただいたことは子どもたちの励みにもつながった。今後の課題としては、探究課題の提案（発表）にとどまることなく、課題解決に向けた実践ができるようにさらに地域と連携を図り、力を借りて取り組んでいきたい。 			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

【 活動の様子 】



荷越瀬プロジェクトテーマ決めの様子
※公民館・観光協会の方も参加していただき実施



イノシキクラフト体験
※青空クラフトの方にお世話になり実施



三國屋での鮎料理体験



神楽コースの練習風景



荷越瀬プロジェクト発表会（ふるさとコース）



荷越瀬プロジェクト発表会（神楽コース）

* 取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータを HP 等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)